

みなさんの「地域づくり」の活動を応援します



FUTURE CREATION 2010

第11回

中部の未来創造大賞



中部の未来創造大賞推進協議会

第11回「中部の未来創造大賞」について

「中部の未来創造大賞」は、地域づくりのための活動を表彰し、新しい時代にふさわしい中部の発展と啓発を促進しようとするものです。
第11回目にあたる今回は、3部門で42件の応募をいただきました。
表彰委員会による審査の結果、大賞1件、優秀賞3件、特別賞2件、奨励賞4件が選考されました。
本冊子は、これらの選考された活動の概要を紹介するものです。
今後の地域づくりに広く役立てていただければ幸いです。

募集部門



住民部門

個人やNPOなどの民間団体など、一般住民からの応募を対象



企業・学校部門

企業、学校、公益法人などからの応募を対象



行政部門

行政機関(国及び地方公共団体、公団・公社を含む)からの応募を対象



地域の伝統・文化を子ども達に伝える地域づくり活動



地域の次世代を担う子ども達の環境教育とまちづくり



愛知県下水道科学館における下水処理水を活用したビオトープづくり



堀川1000人調査隊



大輪のひまわりの花で街を元気に、人々に笑顔を!



伊久身地区の「みちづくり」の取り組み



大地豊穣
—私達が創る南伊豆未来プロジェクト—



軽井沢における“エコツーリズム”の完成を目指して!



与田切砂防林の住民参加型管理のしくみ



富士山高原の酪農を元気にする高校生の挑戦



C O N T E N T S

第11回「中部の未来創造大賞」について……………1

大賞

[企業・学校部門] ……………3

富士山高原の酪農を元気にする高校生の挑戦

優秀賞

[住民部門] ……………5

地域の伝統・文化を子ども達に伝える地域づくり活動

[企業・学校部門] ……………6

大地豊穣 — 私達が創る南伊豆未来プロジェクト—

[企業・学校部門] ……………7

軽井沢における“エコツーリズム”の完成を目指して!

中部経済連合会賞

[住民・行政部門] ……………8

伊久身地区の「みちづくり」の取り組み

中日新聞社賞

[住民部門] ……………9

堀川1000人調査隊

奨励賞

[住民部門] ……………10

与田切砂防林の住民参加型管理のしくみ

[住民部門] ……………11

愛知県下水道科学館における下水処理水を活用したビオトープづくり

[住民部門] ……………12

大輪のひまわりの花で街を元気に、人々に笑顔を!

[住民部門] ……………13

地域の次世代を担う子ども達の環境教育とまちづくり

選考を終えて(表彰委員より)……………14

第1回～10回の主な受賞活動……………15

富士山高原の酪農を元気にする高校生の挑戦



静岡県立富岳館高等学校

〒418-0073 静岡県富士宮市弓沢町732番地
TEL 0544-27-3205
URL <http://www.fugakukan-h.sakura.ne.jp>



富士山麓に位置する富士宮市は静岡県が誇る酪農王国として知られています。しかし一方で、酪農臭気が地域の大きな課題となっています。そこで、農業を学ぶ本校・総合学科・生物生命系列の2・3年次生が本課題を解決すべく、新たな循環型農業システムを地域へ提案し、普及活動に取り組みました。

解決の手法として、分解効果を持つ光触媒と製紙業の廃材「ペーパースラッジ」を混合した脱臭剤「光触媒再生紙チップ」を製作しました。チップは富士山麓の18戸の酪農家に導入し、牛の糞尿に混合しました。紙の廃材でできているので土に還り、臭いも1/15に抑えることができました。完成した堆肥は、周辺農家が経営するキャベツ栽培に生かし、収穫物は、地域に提供、地域を元気づけました。本試みは日本農業新聞をはじめとする各種プレスで紹介され、反響を呼びました。北海道・JA 摩周湖から光触媒再生紙チップの導入依頼が本校へ寄せられ、北海道・105の農家を視野に普及活動が始まりました。



光触媒再生紙チップの散布



酪農家への光触媒再生紙チップの普及活動



堆肥舎への光触媒再生紙チップの導入



酪農家への光触媒再生紙チップの提供

地域の伝統・文化を 子ども達に伝える地域づくり活動



かま塾

〒399-4511 長野県上伊那郡南箕輪村神子柴7778番地
TEL 0265-72-0801



地域の伝統や季節行事、スポーツや文化活動等を、地域の大人達がサポーターとして指導していく中で、子ども達が主体となって体験していきます。ふるさとのこと、お年寄りの貴重な知恵を活動の中で子ども達に伝え、地域で子どもを守り育てる地域づくりを目的として活動しています。具体的には、以下の活動をしています。

- ・ 地域の伝統・文化や昔ながらの生活について、地域の先輩から教えてもらい体験する活動
- ・ スポーツ、文化活動・自然や歴史とのふれあいとして地域の得意な人から教えてもらい体験する活動



サツマイモの苗植え



大麦のはぞ掛け

大地豊穰 —私達が創る南伊豆未来プロジェクト—



静岡県立下田高等学校南伊豆分校

〒415-0306 静岡県賀茂郡南伊豆町石井58番地
TEL 0558-62-0103
URL <http://www3.minamiizu-b.shizuoka-c.ed.jp/>



このプロジェクトは、地域の環境を再生・整備し美しい自然景観作りや農業の振興に貢献し、地域の農業研究会と連携を図り、地域交流を進めていきます。また、地域の小中学校・産業界との連携を図る取り組みによって、地域に新たな活性化をもたらすことを目的として、大地豊穰—私達が創る南伊豆未来プロジェクト—を立ち上げました。具体的には、以下の活動をしています。

- ・ 竹林の整備・竹活用
- ・ 青野大師ダム周辺森林再生
- ・ 農業大好きワクワク交流活動(小学校連携)
- ・ 耕作放棄地再生



農業大好きワクワク交流活動



青野大師ダム周辺地域森林再生アクション

軽井沢における “エコツーリズム”の完成を目指して!



ピッキオ

〒389-0914 長野県北佐久郡軽井沢町大字長倉2148番地
TEL 0267-45-7777
URL <http://picchio.co.jp/sp/>



ピッキオとは、長野県軽井沢町を拠点に野生動植物の調査および保全活動を行うとともに、自然の不思議を解き明かすエコツアーや環境教育を行う専門集団です。「森本来の姿を経済的な価値として高く評価できれば、大規模開発をすることなく、未来に森を残していける」という考え方のもと、森の面白さや不思議さを伝えるエコツアーを展開し、森を森の姿のまま、子供たち、孫たちの世代にまで、残していくことを目指しています。

エコツアー事業:「野鳥の森ネイチャーウォッチング」、「ナイトウォッチング」「ピッキオKIDS」などの一般観光客に対するエコツアーを通年で実施しています。

環境教育事業:軽井沢町の小、中学校、高等学校や首都圏の幼稚園から大学までの環境教育事業を年間50校以上実施しています。

野生動物の保護管理事業:人の生活エリアと野生動物の生息域が重なる軽井沢では、ゴミにツキノワグマが餌付き、居住地付近に現れることが問題となっていました。ピッキオでは人の安全を守ると共に、ツキノワグマも守ることを目指し、個体管理やベアドッグによる追い払い、クマに荒らされないゴミ箱の開発などを行い、ゴミの被害を大幅に減らしています。



エコツアー風景



ツキノワグマの保護管理

伊久身地区の 「みちづくり」の取り組み



伊久身みちづくり委員会・静岡県島田土木事務所

〒427-0019 静岡県島田市道悦5丁目7番1号

TEL 0547-37-5275

URL <http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki2/shimada/index.html>



静岡県 交通基盤部 道路局が平成20年度から実施している『事業着手準備制度』の中で、平成21年4月から伊久身地域の住民と静岡県及び島田市とが、協働で新たな“みちづくり計画”を策定しています。

策定に当っては、地区住民により組織された「伊久身みちづくり委員会」が中心となり、日頃、道路利用者が考えている“中山間地域のみちづくり”のあり方や問題点・課題について、小・中学校では、「出前講座」の開催、地区住民とは、「ワークショップ」を4回開催し、地区の声を“みちづくり”に反映できるような計画づくりを進めました。

この過程において、「伊久身みちづくり委員会」主催による、道路除草、見通しの悪い箇所、雑木・竹の伐採、大雨後の側溝の清掃などを実施し、地域での“みち守り”の取り組みにまで発展していきました。行政側でも、地域からの声を基に狭隘区間に待避所の設置や小学校沿いの側溝に蓋を設置し子供たちが歩きやすい道などの対策を行い、行政と地域が一体となって、活動しています。



伊久美小学校での「出前講座」のようす



伊久身地区での「ワークショップ」のようす

堀川1000人調査隊



堀川1000人調査隊2010実行委員会

〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内2丁目17番30号
ニューマルビル2階 名古屋堀川ライオンズクラブ内
TEL 052-222-2686
URL <http://www.horikawa1000nin.jp>

堀川の浄化、再生を進めるためには、行政の施策に頼るだけでなく、市民が積極的に関わりをもち、行政と市民がお互いに協力してゆくことが必要と考え、堀川1000人調査隊は、堀川浄化を目指し、行政と連携できる幅広い大きな市民運動として育てゆくことを主目的としています。

幅広い市民層をネットワーク化するために、各調査隊の自発的な活動や個性を尊重し、「ゆるやかな連携」を基本としています。

名古屋市の木曽川導水実験の効果をも市民の視線で検証することを主目的とする「定点観測隊」と、大学・企業などを主力とする「自由研究隊」を堀川1000人調査隊の中核戦力として位置づけ、この熱心に関心の高い層をコアに、各調査隊が協力し合って堀川の実態解明を進めるかたわら、堀川に関心をもつ市民層を「堀川応援隊」に勧誘、裾野の広がりを目指しています。各調査隊の活動は自主的・自由に行われ、実行委員会・事務局は全体の方向付けや、各調査隊への情報提供、活動支援を行っています。

行政と連携して行う堀川フラワーフェスティバル、ウォーターマジックフェスティバル、木曽川上下流交流などの大きなイベントを手づくりする過程を通して、より多くの人を堀川応援隊に取り込み、温かみのあるネットワークを広げています。



堀川1000人調査隊2010結成式



インターネットフォーラム

与田切砂防林の 住民参加型管理のしくみ



21世紀与田切の森と川づくりネットワーク

〒399-4104 長野県駒ヶ根市経塚7番11号（森林環境内）
TEL 0265-81-4803



与田切砂防林の工事が終わった「砂防林(河畔林)」は美しい景観と与田切川の清流、豊かな動植物の宝庫であり、その自然環境を管理しながら丸ごと楽しもうと、飯島町が「21世紀与田切ふるさとの森と川整備計画」を平成21年3月につくりました。その趣旨に賛同し、この場所を地域の大切な里山環境ととらえ、多くの個人や団体が集まりました。

膨大な面積があるため、個人や団体が「番地」という単位ごとに愛称をつけ、責任を持って管理・活用する仕組みとしていて、その代表者の集まりを「21世紀与田切の森と川づくりネットワーク」と呼称しています。

砂防林としての良好な森林の整備、里山としての保全と利用、中央アルプスの景観美と与田切川の清流の保全、誰もが憩う癒しの空間、子どもから大人までが楽しめる空間と活動を目的としています。



ウォーキングイベント



植栽ボランティア倶楽部の活動

愛知県下水道科学館における 下水処理水を活用したビオトープづくり



愛知県下水道科学館ビオトープの会「バイオピース」

〒490-1301 愛知県稲沢市平和町須ヶ谷長田295番3号
TEL 0567-47-1551 (愛知県下水道科学館)
URL <http://biopeace.web.infoseek.co.jp/>



「バイオピース」は、下水道科学館に下水処理水を用いたビオトープを作ろうという、愛知県の呼びかけに集まった市民が母体となってできた市民団体です。ビオトープの構想・企画から主体的に関与し、建設後もビオトープの育成、調査・観察、草刈りなどの管理、来場者の案内・指導、イベント等の企画・実施を愛知県および指定管理者(財)愛知水と緑の公社と協働で行っています。

ビオトープでは1年を通して月2回(第2、第4土曜日)の定期開放を行っており、来場者は魚や昆虫、植物などを自由に観察、採集ができます。この他、生物観察会、植樹祭、ビオトープ内で育つ植物を素材としたおもちゃ作りなど、四季折々に様々なイベントを行っています。

また最近では、積極的に水田や畑などを作り、池のドロや落ち葉を肥料にしながら作物を作ったり、木の実を採ったりして、自然の恵みを体験できる活動を子どもたちとともに進めています。



ビオトープ水田の田植え体験



ビオトープ開放日の様子(バックは下水道科学館本館)

大輪のひまわりの花で 街を元気に、人々に笑顔を！



ひまわり2525プロジェクト

〒430-0929 静岡県浜松市中央2丁目6番22号

TEL 090-4711-3486

URL <http://2525pj.tv> <ブログ> <http://himawari2525.hamazo.tv/>



ひまわりを通じて、自然と共に人との交流の場を生み、豊かな心とニコニコ笑顔が溢れるまちづくりを目指すという趣旨の基、若者を中心にひまわりを育て豊かな心をはぐくみ、まちづくり、環境問題などに楽しく取り込んでいく誰もが参加出来る地域活性化プロジェクトです。具体的には以下の活動を行っています。

- 8月：たくさんの人に元気に、笑顔になってもらう為に、ひまわり開花祭でのイベント開催
- 年間を通じてのひまわり活性化事業
 - ・畑の維持、管理、拡大、調整、他地域の支援等
 - ・交流事業としての福祉施設訪問(障害者施設、介護老人施設での出張種まき)
 - ・教育事業としての教育施設訪問(保育園、幼稚園、小学校での出張種まき)
 - ・広報活動、イベント出展等



出張種まき



ひまわり畑で待ってます

地域の次世代を担うこども達の 環境教育とまちづくり



地域環境活性化協議会

〒488-0839 愛知県尾張旭市渋川町3丁目5番7号 渋川福祉センター内
TEL 0561-51-2878
URL <http://www.tkkk.tk/>



愛・地球博の理念を継承し、次世代を担うこども達に環境教育によって自然体験とまちづくりに貢献し子供達の感性を育むことによって健全育成を図る持続可能な事業に取り組むことを目的としています。

具体的には、以下の活動を行っています。

- ・ 森の探訪体験、川の水質等の調査
- ・ 環境に加え社会の仕組みを学ぶ「こども環境大学」
- ・ 県道・市道の清掃を行うアダプト運動
- ・ 美化効果・啓発、地域PRを推進する環境フォーラム
- ・ 子供むかし遊びの伝承



「こども環境大学」第1期 基礎生物学研究所(岡崎)



東京大学演習林探訪

委員長

名城大学理工学部教授

松井 寛 まつい ひろし

今回の選考は応募件数42件の中から運営幹事会によって推薦された16件について、7名の選考委員が手分けして現地視察を行った。年々各グループの活動が進化を遂げ優劣付け難くなってきているが、今回は企業・学校部門に比較的優れた活動が多かったように思う。

副委員長

名古屋工業大学大学院教授

山本 幸司 やまもと こうし

中部の未来創造大賞への応募数が減っていることは残念であるが、今回は選外となった中にも活発な活動を継続している組織が多く、また住民が行政と協働して活動しておられるような新しい取り組みも見受けられ、今後とも大いに期待したい。今回受賞なされた組織には敬意を表させて頂くとともに、受賞が最終目的ではなく、活動の一プロセスであることをご理解頂きたいと思う。

委員

三重大学特命学長補佐

渡邊 悌爾 わたなべ ていじ

選ばれた事例は、地域を愛に根ざし、特色ある地域貢献活動を様々な連携・協働により展開されている点、「新しい時代の公」のモデルと評価できる。行政部門の応募が少ないのは残念で、住民、NPO等との協働活動など、創意工夫に基づく新たな挑戦を期待したい。



選考を終えて
(表彰委員より)

委員

駿府静岡歴史楽会事務局代表

竹内 礼子 たけうち れいこ

受賞された団体は今までにない着眼と実行力を示した活動内容だった。しかしどの団体にも継続可能性や資金など今後の課題はあると思う。本当に目指す目標に向かってさらに工夫と努力を積み重ねて欲しいと思う。

委員

中日新聞論説委員

前田 弘司 まえだ こうじ

本年度は全体に応募件数が少なかったと指摘されたが、高校生の若い世代が真剣に地域振興に取り組んだ事例が目立ったのは、頼もしい限りである。過去に登場した案件の再応募もいくつかあったが、活動に進展があったものと、同工異曲のものに別れたのが印象的であった。

委員

(社)中部経済連合会専務理事

山内 拓男 やまうち たくお

今回は応募件数が例年に比べ少なかったですが、実際に現地調査でお邪魔して活動内容を伺い、多くの地域に根ざした地道な活動に触れることができ、改めて頭の下がる思いがしました。各団体の今後の活動がますます発展されることを祈念いたします。

委員

国土交通省中部地方整備局長

富田 英治 とみだ えいじ

今回の「中部の未来創造大賞」には、地域一体となった連携・協働による活動や、地域の課題の解決に取り組む活動が多く見られました。今後も、みなさんの熱意ある活動が、継続的に取り組まれ、発展していくことにより、新しい中部の「地域づくり」に繋がっていくことを期待します。

中部の未来創造大賞推進協議会

国土交通省中部地方整備局

長野県

岐阜県

静岡県

愛知県

三重県

静岡市

浜松市

名古屋市

中日本高速道路株式会社 名古屋支社

名古屋高速道路公社

独立行政法人
水資源機構 中部支社

地方共同法人
日本下水道事業団 東海総合事務所

独立行政法人
都市再生機構 中部支社

社団法人
土木学会 中部支部

中部電力株式会社

社団法人
中部建設協会

社団法人
日本土木工業協会 中部支部

社団法人
建設コンサルタンツ協会 中部支部

社団法人
長野県建設業協会

社団法人
岐阜県建設業協会

社団法人
静岡県建設業協会

社団法人
愛知県建設業協会

社団法人
三重県建設業協会

社団法人
中日新聞社

後援/社団法人
中部経済連合会

中部の未来創造大賞とは？

これからの「地域づくり」は、社会資本の整備だけでなく、その維持・活用や環境保全、その地域の持つ歴史と伝統への配慮などを総合的に考え推進していくことが不可欠です。また、平成20年に閣議決定された国土形成計画（全体計画）では「新たな公」を基軸とする地域づくりの視点が盛り込まれています。「中部の未来創造大賞」では、このような観点から、民間、行政の垣根を越えた幅広い分野で取り組まれているみなさまの活動を募り、表彰し、広く一般に紹介することによって、これからの新しい中部の「地域づくり」に役立てていきたいと考えています。

●第1～10回（平成12～21年度）の主な受賞活動

住民部門

宿場の賑わい復活プロジェクト

宿場の賑わい復活一座



二百万本の彼岸花と四季の花々で童話の里を彩る環境美化活動

矢勝川の環境を守る会



相生山緑地 オアシスの森くらぶ

相生山緑地オアシスの森くらぶ



熊野古道始神峠の整備・保存活動

始神峠を守る会



白馬山麓における積雪期の事故防止活動

特定非営利活動法人 ACT



企業・学校部門

きれいな海岸をとりもどそう

津市立北立誠小学校



守ろう。ふるさと水門川&地域ぐるみの親子早朝清掃

大垣市立興文小学校



2020年笠原の森プロジェクト

多治見市立笠原中学校



“夢を大地に”アクションプログラム

静岡県立磐田農業高等学校



輝け、サンセット（夕日美しい丘）ナンバー1

阿南町立阿南第二中学校



行政部門

わしら自慢の公園じゃまあいっぺん見にきておくれ～働く元気高齢者

藤原町役場



里山に生きる牧田保育園

上石津町役場



うだつ上がる町並みを生かしたまちづくり

美濃市建設部都市整備課



三島市街中がせせらぎ事業

静岡県三島市



八穂環境学習教室

海部地区環境事務組合
八穂クリーンセンター



FUTURE CREATION 2010

中部の未来創造大賞

主催／中部の未来創造大賞推進協議会



中部の未来創造大賞については
右記のホームページをご覧ください。



<http://www.cbr.mlit.go.jp/mirai/>

中部の未来創造大賞推進協議会事務局

国土交通省 中部地方整備局 企画部 企画課 — TEL(052)953-8127

社団法人 中部建設協会 業務部 — TEL(052)962-9086

mirai@ckk.or.jp